

2018年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

MS&C

株式会社 MS & Consulting

決算ハイライト①

● 前年同期比で増収減益

- ✓ 売上収益は1,883百万円（前年同期比83百万円増、同4.6%増）となりました。

ミステリーショッピングリサーチ（以下、MSR）の調査数が堅調に伸長したことにより、国内におけるMSRの売上収益（注）は1,679百万円（前年同期比111百万円増、同7.1%増）となった一方、MSRに付随したコンサルティング・研修（以下、コンサル）の売上収益が137百万円（前年同期比22百万円減、同13.8%減）となりました。

- ✓ 営業利益は163百万円（前年同期比32百万円減、同16.5%減）となりました。

主に以下の要因により、売上原価及び販管費が増加いたしました。

- ・MSRの調査数伸長に伴うモニター謝礼等外注原価の増加
- ・今後の事業成長に向けた人件費の増加
- ・上場関連諸費用の増加

注：「MSRの売上収益」=
「MSR事業の売上収益」－「MSRに付随したコンサルティング・研修の売上収益」

● MSRの調査数は堅調に伸長

- ✓ 国内におけるMSRの調査数は17.9万回（前年同期比12.3%増）となりました。
- ✓ 国内におけるMSRの調査店舗数は6.2万店（前年同期比2.7%増）となりました。

決算ハイライト②

● 2018年3月期通期業績予想は達成の見込み

- ✓ 2018年3月期第3四半期末時点で、通期業績予想に対する売上収益進捗率は65.9%、営業利益進捗率は29.1%となりました。ただし、国内において受注残を含めた通期業績予想に対する売上収益の充足率は82.9%となっております。
- ✓ 売上収益及び営業利益は、他の四半期と比較して第4四半期連結会計期間に高くなるという季節変動性があり、それを織り込んだ予算編成となっております。
第3四半期連結累計期間の営業利益は予算対比1百万円増、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同3百万円減となっており、ほぼ予算通りに推移しております。通期においても業績予想は達成の見込みです。

連結P/Lサマリー

- ✓ MSRの調査数が堅調に伸長、前年同期比増収
- ✓ MSRの調査数伸長に伴うモニター謝礼等の外注原価、今後の事業成長に向けた人件費及び上場関連諸費用の増加等により、前年同期比減益
- ✓ 前年同期比における乖離幅は第2四半期連結累計期間から順調に縮小

(単位：百万円)

| | 2017年3月期 第2四半期 連結累計期間 (実績) | 2018年3月期 第2四半期 連結累計期間 (実績) | 前年 同期比 | 2017年3月期 第3四半期 連結累計期間 (実績) | 2018年3月期 第3四半期 連結累計期間 (実績) | 前年 同期比 |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------|-------------------------------------|---|-----------|
| 売上収益 | 1,162 | 1,216 | 4.7% | 1,800 | 1,883 | 4.6% |
| 営業利益 | 107 | 70 | -34.9% | 195 | 163 | -16.5% |
| 税引前四半期利益 | 106 | 69 | -34.8% | 194 | 162 | -16.3% |
| 四半期利益 | 64 | 40 | -37.6% | 119 | 99 | -17.0% |
| 親会社の所有者に帰属する 四半期利益 | 68 | 43 | -36.4% | 126 | 104 | -17.4% |

連結P/Lサマリー（国内における売上収益の内訳）

- ✓ 第2四半期連結累計会計期間で発生したコンサル案件の実施時期後倒しによる売上収益減を引き続きMSRでカバーするも、売上総利益で前年同期比減益
- ✓ 第4四半期連結会計期間でコンサルの売上収益減が見込まれる場合にも、MSRの売上収益増でカバーの見通し

（単位：百万円）

| | 2017年3月期 第3四半期累計 （実績） | 2018年3月期 第3四半期累計 （実績） | 前年同期比 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| 売上収益 | 1,796 | 1,874 | 4.3% |
| MSR事業の売上収益 | 1,726 | 1,816 | 5.2% |
| （内、MSR） | 1,568 | 1,679 | 7.1% |
| （内、コンサルティング・研修） | 158 | 137 | -13.8% |
| 売上総利益 | 664 | 653 | -1.6% |
| MSR調査数 | 15.9万回 | 17.9万回 | 12.3% |

連結P/Lサマリー（段階利益内訳）

✓ 営業利益において前年同期比減益となった主な要因は以下の通り

（単位：百万円）

| | 2017年3月期 第3四半期 連結累計期間 （実績） | 2018年3月期 第3四半期 連結累計期間 （実績） | 対売上収益 | 前年同期比 |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|---------|
| 売上収益 | 1,800 | 1,883 | 100.0% | 4.6% |
| 売上原価 | -1,137 | -1,229 | -65.3% | 8.1% |
| 売上総利益 | 663 | 653 | 34.7% | -1.4% |
| 販管費 | -479 | -492 | -26.2% | 2.9% |
| その他の営業収益 | 12 | 11 | 0.6% | -6.4% |
| その他の営業費用 | -1 | -9 | -0.5% | 1501.3% |
| 営業利益 | 195 | 163 | 8.7% | -16.5% |
| 金融収益 | 0 | 0 | 0.0% | -53.3% |
| 金融費用 | -2 | -1 | -0.1% | -38.5% |
| 税引前利益 | 194 | 162 | 8.6% | -16.3% |
| 当期利益 | 119 | 99 | 5.3% | -17.0% |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 126 | 104 | 5.5% | -17.4% |

<売上原価の内訳>

売上収益増に伴う外注原価増 +48百万円
及びレポート生産人員増 +33百万円

等

<販管費の内訳>

上場に向けた管理・システム部門
増強に伴う人件費増 +33百万円
上場に伴う監査等報酬増 + 5百万円

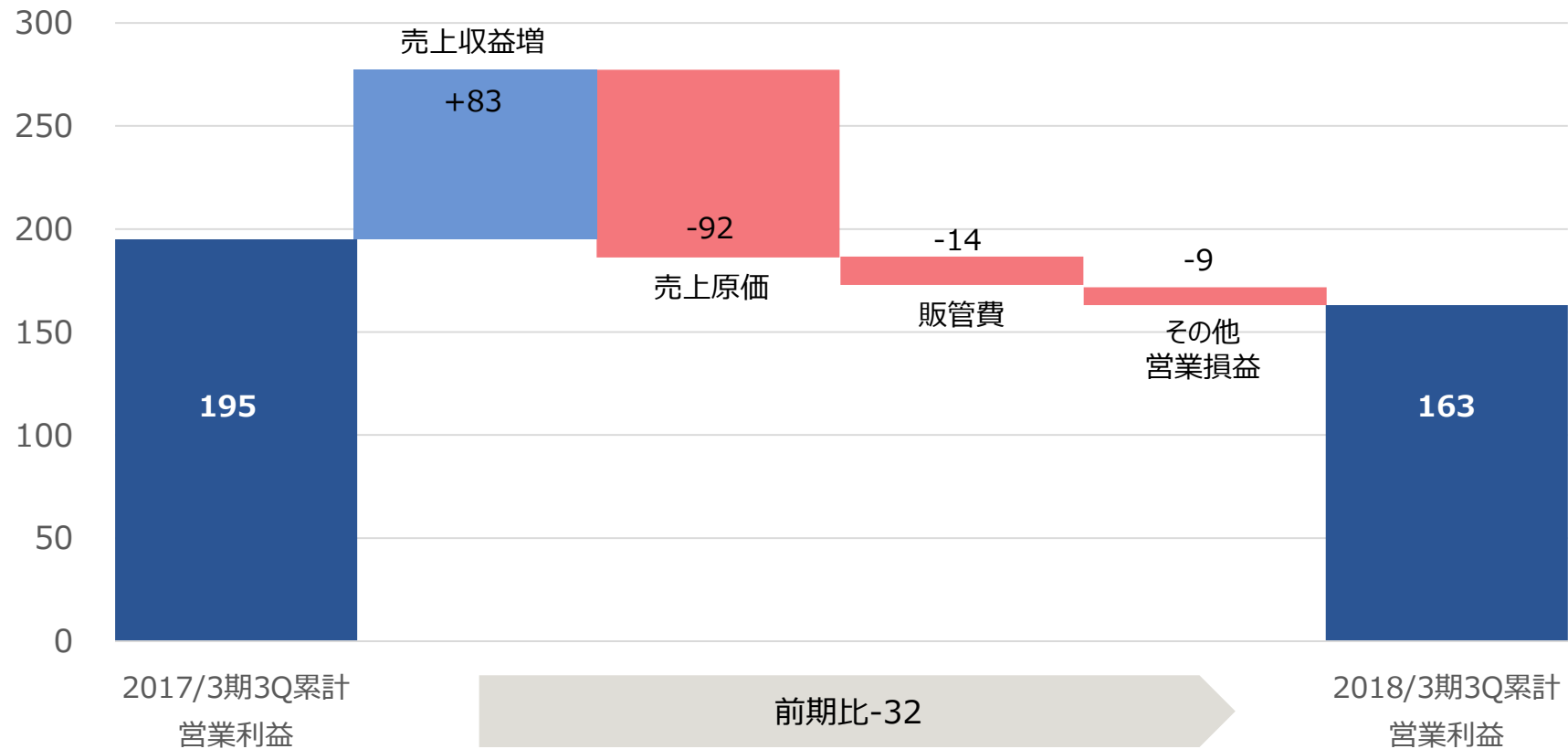
等

<その他の営業費用の内訳>

上場に伴う一時コスト + 9百万円

連結P/Lサマリー（段階利益内訳）

(単位：百万円)



連結B/Sサマリー

- ✓ 上場時における公募増資及び新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金が増加
- ✓ 配当金の支払により利益剰余金が減少

| 資 産 | (単位：百万円) | |
|--------------|------------------------------------|--|
| | 2017年3月期 連結会計年度 (2017年3月31日) | 2018年3月期 第3四半期 連結会計期間 (2017年12月31日) |
| 現金及び現金同等物 | 1,019 | 548 |
| 営業債権及びその他の債権 | 527 | 476 |
| 棚卸資産 | 0 | 4 |
| その他の流動資産 | 32 | 61 |
| 流動資産合計 | 1,579 | 1,088 |
| 有形固定資産 | 27 | 31 |
| のれん | 2,224 | 2,224 |
| その他の無形資産 | 30 | 34 |
| その他の金融資産 | 38 | 29 |
| 繰延税金資産 | 20 | 28 |
| 非流動資産合計 | 2,338 | 2,346 |
| 資産合計 | 3,917 | 3,434 |

| 負債及び資本 | (単位：百万円) | |
|----------------------|------------------------------------|--|
| | 2017年3月期 連結会計年度 (2017年3月31日) | 2018年3月期 第3四半期 連結会計期間 (2017年12月31日) |
| 借入金 | 137 | 108 |
| 営業債務及びその他の債務 | 445 | 506 |
| 未払法人所得税等 | 105 | - |
| 引当金 | 6 | 6 |
| その他の流動負債 | 24 | 2 |
| 流動負債合計 | 717 | 623 |
| 借入金 | 170 | 93 |
| 引当金 | 14 | 14 |
| 非流動負債合計 | 184 | 106 |
| 負債合計 | 901 | 729 |
| 資本金 | 524 | 570 |
| 資本剰余金 | 1,846 | 1,897 |
| その他の資本の構成要素 | -14 | -21 |
| 利益剰余金 | 668 | 272 |
| 親会社の所有者に 帰属する持分合計 | 3,024 | 2,718 |
| 非支配持分 | -7 | -13 |
| 資本合計 | 3,016 | 2,705 |
| 負債及び資本合計 | 3,917 | 3,434 |

連結CFサマリー

- ✓ 投資活動によるキャッシュフローは、ハードウェアの入替、付加価値及び生産性向上のための社内利用ソフトウェアの購入による支出が発生
- ✓ 財務活動によるキャッシュフローは、株式の発行による収入、借入金の約定返済の他、配当金の支払額500百万円を含む

(単位：百万円)

| | 2017年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 2018年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 前年同期比 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 100 | 65 | -35.2% |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | -14 | -20 | 41.9% |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | -85 | -515 | 506.4% |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 905 | 548 | -39.4% |

配当の基本方針及び今期の配当予想について

✓ 2017年12月20日付けで配当の基本方針及び今期の期末配当予想を発表しております。

● 配当の基本方針

✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRSベースの配当性向20%、日本基準（単体）ベースの配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。

● 今期の配当予想

✓ 2018年3月期の期末配当予想は1株当たり17.5円としております。

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。